

大会名 Competition	第25回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2012 年 5 月 3 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 能代工高	<table border="1"> <tr><td>30 1st</td><td>27</td></tr> <tr><td>21 2nd</td><td>27</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>32</td></tr> <tr><td>25 4th</td><td>24</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	30 1st	27	21 2nd	27	18 3rd	32	25 4th	24	OT		チームB 尽誠学園
30 1st	27											
21 2nd	27											
18 3rd	32											
25 4th	24											
OT												
94 ●		110 ○										

主審:Referee 渡邊 亮
副審:Umpire 高城 邦弘 針生 淳男
テーブルオフィシャル:Table officials 能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	土屋 真人	cap	18	2	6	0	3	4	×	岸 貴耶	CAP	12	2	3	0	0
5	×	佐々木 健登		10	0	5	0	4	5	×	楠 元龍水		9	3	0	0	2
6	/	松本 大河		10	2	2	0	3	6	×	東原 寛大		11	0	4	3	3
7	/	野里 惇貴		12	4	0	0	3	7	×	渡邊 雄太		34	1	10	11	0
8	/	三根 一求		0	0	0	0	1	8	/	篠原 敏希		5	0	2	1	1
9		島山 凌		-	-	-	-	0	9	/	大原 俊祐		7	1	2	0	1
10	/	中島 強太		2	0	1	0	1	10	×	山野 裕太		25	0	10	5	1
11	×	五十嵐 駆		0	0	0	0	1	11	/	只信 晶十史		0	0	0	0	1
12	×	小田桐 匡志		23	3	4	6	1	12	/	川上 潤平		5	0	2	1	2
13	×	長谷川 暢		11	1	3	2	3	13	/	黒田 哲也		0	0	0	0	0
14	/	吉川 雄磨		8	1	1	3	1	14	/	山川 和穂		2	0	1	0	0
15		荒木 直		-	-	-	-	0	15	/	前山 卓矢		0	0	0	0	1
16		伊藤 諒哉		-	-	-	-	0				-	-	-	-	0	
17		安保 友貴		-	-	-	-	0				-	-	-	-	0	
18		渡邊 竜也		-	-	-	-	0				-	-	-	-	0	
コーチ		佐藤 信長							コーチ		色摩 拓也						
合計				94	13	22	11	21	合計				110	7	34	21	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q: 両チームともにハーフコートマンツーマンでスタートする。尽誠学園は#7渡邊のシュートで先制し連続得点で0-8とする、能代も#5佐々木のシュートが決まりオフェンスのリズムが徐々によくなる。尽誠も#7渡邊を起点とし得点を重ねる。残り3分能代#13長谷川の3Pからペースをつかみ、#6松本の3Pで22-21と逆転する。尽誠も#6東原のシュートで応戦するも、その後も能代のシュートがよく決まり、30-27能代3点リードで1Q終了。

2Q: 尽誠#10山野のバスケットカウント、ゴール下のシュートで逆転スタートするも、能代#10五十嵐のシュートですぐに追いつく。その後、点の取り合いとなるが能代のファウルがかさみ、尽誠がリードするかに見えたが、能代は速い展開でフロントコートからプレッシャーをかけ、#4土屋のシュートで38-39としたところで尽誠がタイムアウト。その後も激しいプレッシャーをかけ続け、残り4分44-41と能代3点リードとする。尽誠も#7渡邊のシュート、#10山野のスティールからの得点で残り2分、49-48で1点差に詰めたところで能代がタイムアウト。その後も尽誠#12川上のゴール下などで得点を重ねて、51-54尽誠3点リードで2Q終了。

3Q: 開始能代#4土屋#12小田桐の3Pが立て続けに決まり57-54と能代が逆転する。尽誠も#5楠元の連続シュートですぐに逆転。その後能代はシュートが決まらず、尽誠は#5楠元が決め、残り5分46秒69-59となったところで能代がタイムアウト。能代はフロントコートからプレッシャーをかけるが、尽誠は落ち着いたボール運びで得点を重ねる。能代も#7野里の3Pが連続で決めるが、尽誠#10山野のオフェンスリバウンドからの連続シュートで得点を重ね69-86と17点リードし3Q終了。

4Q: 能代はオールコートで激しいプレッシャーをかけるが得点につながらない、尽誠は#7の3Pなどで徐々に点差を離していく。その後も流れは変わらずバランスよく点数をとっていく尽誠に対して、能代は外のシュートが決まらず、残り3分、76-104と点差が開く。能代も#14吉、#6松本のシュートで反撃するも追いつくには至らず94-110で尽誠学園が勝利した。